

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月27日

上場会社名 エレマテック株式会社

上場取引所 東

コード番号 2715 URL <http://www.elematec.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 潤

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員 (氏名) 磯上 篤生

TEL 03-3454-3526

四半期報告書提出予定日 平成29年10月27日

配当支払開始予定日

平成29年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	104,134	9.7	3,345	52.8	3,103	43.6	2,175	—
29年3月期第2四半期	94,966	△21.7	2,190	△46.1	2,160	△48.7	△879	—

(注)包括利益 30年3月期第2四半期 2,374百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 △2,844百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	106.27	—
29年3月期第2四半期	△42.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	99,752	46,715	46.8	2,281.79
29年3月期	93,284	44,545	47.8	2,175.80

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 46,715百万円 29年3月期 44,545百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
30年3月期	—	25.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	33.00	58.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	205,000	1.0	5,800	7.3	5,600	5.4	3,900	190.5	190.49

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	21,152,473 株	29年3月期	21,152,473 株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	679,267 株	29年3月期	679,267 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	20,473,206 株	29年3月期2Q	20,473,235 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10
3. 補足情報	10
海外売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用・所得環境の改善が進む中、緩やかな回復基調が続きましたが、英国のEU離脱問題、米国新政権による保護主義的な経済政策、中東・北朝鮮の地政学的リスクの高まり等、世界経済の不確実性により先行きは不透明な状況で推移しました。

エレクトロニクス業界におきましては、高機能スマートフォンやIoT関連機器の需要及び自動車の電装化比率の拡大により、電子部品等の生産は堅調に推移しました。また、白物家電の販売は一部地域で天候不順がみられたものの、ルームエアコンを中心に総じて堅調に推移しました。

このような状況の中、当社グループは、スマートフォン向けデバイス及びディスプレイ関連部材と自動車向け各種関連部材に注力した販売活動に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比9.7%増の1,041億34百万円となりました。

利益面につきましては、売上高の増加に伴い売上総利益も増加し、営業利益は、前年同期比52.8%増の33億45百万円となりました。

経常利益は、営業利益が増加したことから、前年同期比43.6%増の31億3百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、貸倒引当金を特別損失として計上した前年同期（親会社株主に帰属する四半期純損失8億79百万円）を30億54百万円上回り、21億75百万円となりました。

当社グループの報告セグメントを基にした、当第2四半期連結累計期間における地域別販売状況の概要は、以下のとおりであります。

(日本)

売上高は、スマートフォン向けデバイス及びディスプレイ関連部材並びに自動車向け各種関連部材の販売が増加したことから、前年同期比10.9%増の573億72百万円となりました。営業利益は、前年同期比95.9%増の13億88百万円となりました。

(中国)

売上高は、テレビ向けディスプレイ関連部材及びゲーム機器向け各種関連部材の販売が増加したことから、前年同期比5.6%増の250億3百万円となりました。営業利益は、前年同期比15.0%減の7億90百万円となりました。

(その他アジア)

売上高は、OA機器及び自動車向け各種関連部材の販売が増加したことから、前年同期比4.0%増の170億98百万円となりました。営業利益は、前年同期比65.2%増の7億36百万円となりました。

(欧米)

売上高は、テレビ向けディスプレイ関連部材及び自動車向け各種関連部材の販売が増加したことから、前年同期比49.6%増の46億59百万円となりました。営業利益は、前年同期比48.4%増の1億60百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、「現金及び預金」が増加したこと等により、前連結会計年度末比6.9%増の997億52百万円となりました。

負債は、「支払手形及び買掛金」が増加したこと等により、前連結会計年度末比8.8%増の530億37百万円となりました。

純資産は、「利益剰余金」が増加したこと等により、前連結会計年度末比4.9%増の467億15百万円となりました。なお、自己資本比率は、46.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より81億86百万円増加し、184億69百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、109億53百万円の収入となりました。主な要因としましては、税金等調整前四半期純利益が31億3百万円、売上債権の減少による資金獲得が45億32百万円、たな卸資産の増加による資金流出が18億53百万円、仕入債務の増加による資金獲得が58億98百万円、法人税等の支払による資金流出が11億89百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、90百万円の支出となりました。主な要因としましては、有形固定資産の取得による資金流出が76百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、29億21百万円の支出となりました。主な要因としましては、短期借入金の減少による資金流出が27億16百万円、配当金の支払による資金流出が2億4百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の連結業績予想につきましては、平成29年4月27日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,282	18,469
受取手形及び売掛金	66,955	62,946
たな卸資産	9,466	11,465
繰延税金資産	305	280
その他	1,184	1,142
貸倒引当金	△531	△145
流動資産合計	87,662	94,158
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,201	2,224
減価償却累計額	△1,481	△1,517
建物及び構築物 (純額)	720	706
土地	1,243	1,243
その他	1,692	1,746
減価償却累計額	△1,257	△1,294
その他 (純額)	435	452
有形固定資産合計	2,398	2,401
無形固定資産		
ソフトウェア	341	315
販売権	774	669
その他	0	0
無形固定資産合計	1,115	984
投資その他の資産		
投資有価証券	518	560
繰延税金資産	378	449
投資不動産	362	357
破産更生債権等	2,928	3,752
退職給付に係る資産	57	42
その他	809	812
貸倒引当金	△2,946	△3,767
投資その他の資産合計	2,107	2,207
固定資産合計	5,621	5,593
資産合計	93,284	99,752

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,734	49,205
短期借入金	2,884	168
未払法人税等	840	749
賞与引当金	298	661
役員賞与引当金	—	20
その他	1,763	2,047
流動負債合計	48,521	52,853
固定負債		
退職給付に係る負債	72	64
その他	145	118
固定負債合計	217	183
負債合計	48,738	53,037
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,142	2,142
資本剰余金	3,335	3,335
利益剰余金	38,618	40,589
自己株式	△694	△694
株主資本合計	43,401	45,372
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	165	193
繰延ヘッジ損益	△4	△2
為替換算調整勘定	989	1,150
退職給付に係る調整累計額	△7	1
その他の包括利益累計額合計	1,143	1,343
純資産合計	44,545	46,715
負債純資産合計	93,284	99,752

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	94,966	104,134
売上原価	87,207	94,433
売上総利益	7,759	9,700
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,741	1,844
役員報酬	77	82
運賃及び荷造費	910	1,022
法定福利費	316	360
旅費及び交通費	344	361
減価償却費	114	100
賞与引当金繰入額	370	604
役員賞与引当金繰入額	—	20
退職給付費用	108	114
貸倒引当金繰入額	84	305
その他	1,500	1,537
販売費及び一般管理費合計	5,569	6,354
営業利益	2,190	3,345
営業外収益		
受取利息	20	25
貸貸収入	40	40
その他	12	25
営業外収益合計	72	91
営業外費用		
支払利息	2	5
貸貸費用	13	12
為替差損	74	307
その他	12	7
営業外費用合計	101	333
経常利益	2,160	3,103
特別利益		
投資有価証券売却益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
貸倒引当金繰入額	2,832	—
特別損失合計	2,832	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△670	3,103
法人税等	209	927
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△879	2,175
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△879	2,175

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△879	2,175
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17	27
繰延ヘッジ損益	△0	1
為替換算調整勘定	△1,950	159
退職給付に係る調整額	5	8
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	1
その他の包括利益合計	△1,965	199
四半期包括利益	△2,844	2,374
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,844	2,374

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△670	3,103
減価償却費	137	126
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,916	291
売上債権の増減額(△は増加)	△11,357	4,532
破産更生債権等の増減額(△は増加)	△2,829	△697
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,353	△1,853
仕入債務の増減額(△は減少)	13,423	5,898
その他	△254	717
小計	12	12,118
利息及び配当金の受取額	23	29
利息の支払額	△2	△5
法人税等の支払額	△221	△1,189
営業活動によるキャッシュ・フロー	△187	10,953
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△107	△76
無形固定資産の取得による支出	△9	△11
投資不動産の賃貸による収入	28	37
その他	△92	△40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△180	△90
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,153	△2,716
配当金の支払額	△716	△204
財務活動によるキャッシュ・フロー	437	△2,921
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,159	245
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,089	8,186
現金及び現金同等物の期首残高	12,477	10,282
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,387	18,469

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	中国	その他 アジア	欧米	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	51,734	23,679	16,437	3,115	94,966	—	94,966
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	22,770	9,843	4,049	929	37,592	(37,592)	—
計	74,504	33,522	20,487	4,044	132,558	(37,592)	94,966
セグメント利益	708	929	446	108	2,192	(2)	2,190

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額は、セグメント間の消去額を記載しております。

2. 日本以外の各セグメントに属する国または地域は、次のとおりであります。

- (1) 中国……………中国(香港を含む)
- (2) その他アジア…台湾、韓国、インド、東南アジア
- (3) 欧米……………米国、メキシコ、チェコ

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	中国	その他 アジア	欧米	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	57,372	25,003	17,098	4,659	104,134	—	104,134
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	24,536	10,583	8,509	217	43,848	(43,848)	—
計	81,909	35,587	25,608	4,877	147,982	(43,848)	104,134
セグメント利益	1,388	790	736	160	3,076	269	3,345

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額は、セグメント間の消去額を記載しております。

2. 日本以外の各セグメントに属する国または地域は、次のとおりであります。

- (1) 中国……………中国（香港を含む）
- (2) その他アジア…台湾、韓国、インド、東南アジア
- (3) 欧米……………米国、メキシコ、チェコ

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

海外売上高

前第2四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）

	中国	その他アジア	その他	合計
I 海外売上高（百万円）	28,291	22,513	3,329	54,134
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	94,966
III 海外売上高の連結売上高に占める割合（%）	29.8	23.7	3.5	57.0

(注) 国または地域の区分の方法及び各区分に属する主な国または地域は、次のとおりであります。

① 国または地域の区分の方法……………地理的近接度による。

② 各区分に属する主な国または地域……………中国（香港を含む）

その他アジア：台湾、韓国、インド、東南アジア

当第2四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日至 平成29年9月30日）

	中国	その他アジア	その他	合計
I 海外売上高（百万円）	28,270	26,756	4,130	59,157
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	104,134
III 海外売上高の連結売上高に占める割合（%）	27.1	25.7	4.0	56.8

(注) 国または地域の区分の方法及び各区分に属する主な国または地域は、次のとおりであります。

① 国または地域の区分の方法……………地理的近接度による。

② 各区分に属する主な国または地域……………中国（香港を含む）

その他アジア：台湾、韓国、インド、東南アジア